

# 日点委通信

No.11

1995年10月1日発行

## 日本点字委員会総会報告

日本点字委員会は、1995年5月13日・14日の両日、大阪市北区の山西福祉記念会館において第31回総会を開催し、次の事項を協議した。

### 1. 委員等の交替について

全国盲学校長会長として学識経験委員を務めていた小林一弘委員は、1995年3月31日をもって東京都立文京盲学校を退職したため、全国盲学校長会からの委員は、同会事務局長の板倉捷重東京都立八王子盲学校長と交替した。総会に先立って開催された両界代表委員協議会では、板倉捷重・小林一弘の両氏を学識経験委員として選出した。

また、盲人社会福祉界の点字図書館部会から選出されていた岩井和彦委員は、日本ライトハウス点字情報技術センターに異動して在籍の基盤が点字出版部会となったため、点字図書館部会から石川県視覚障害者協会点字図書館の細川啓子氏が代表委員として選出され交替した。

点字科学記号専門委員会の宮村健二委員長からは、同専門委員会の充実のため、現行17名の委員に筑波大学附属盲学校の石崎喜治教諭を追加したい旨の提案があり承認された。

### 2. あん摩・マッサージ・指圧師、はり師、きゅう師等国家試験の

#### 点字表記について

筑波大学附属盲学校の岩屋芳夫教諭から「第3回あん摩・マッサージ・指圧師試験、はり師及びきゅう師試験における点字表記について」の報告があり意見交換を行った。主な内容は①問題指示文中のゴシック体表記の語句に付ける符号類について、②同音異穴等の漢字表記に付ける点訳者注の付け方について、③ギリシア文字の表記についての3点であった。ちなみに、ゴシック体表記への対応は、第3回までの点字試験問題では何の対応策も採られていない。また、同音異穴等の漢字表記については、第3

回の試験から、点字・墨字に共通に付けられた注は第1カッコで、点字にのみ付けられた注は点訳者挿入符を用いて表記されている。

### 3. 理療関係用語の表記について

宮村健二委員から、関東地区小委員会ですとまとめた理療関係用語の点字表記の検討案についての報告があり意見交換を行った。理療関係用語といえども、原則的には一般の複合語の切れ続きの規則に外れるものではないということを確認した上で、主として、かかり受けの入り組んだ構造を持つ複合語の切れ続きについて協議し、今後も引き続き協議していくことになった。

### 4. 複合語の切れ続きについて

関東地区小委員会からは、金子昭委員が「複合語の切れ続きについて——『日本点字表記法 1990年版』の解釈をめぐって」を報告した。近畿点字研究会からは、渡辺昭一委員が「長い外来語の切れ続きの検討案」を報告した。また、東海地区小委員会からは水谷吉文委員が東海点字研究会からの提案を説明した。これらを受けて、和語名詞を中心とした複合語の切れ続きの規則の適用の仕方について、サ変動詞「する」の切れ続き、外来語の切れ続きなどについて協議した。

## 小学校の教科書に点字についての教材が載る

平成8年度から使用する小学校の国語の教科書に点字についての教材が採用された。光村図書発行の文部省検定教科書「国語四上 かがやき」に、大島健甫氏が執筆した「手と心で読む」が採り上げられたのである。「大事なところを落とさずに読むこと」をねらいとした説明文の読み取りの教材である。大島健甫氏自身の視覚障害者の立場から書かれた文章である。駅の券売機等街中の点字の紹介から筆を起し、中途失明後の点字との出会いを述べ、点字の構成等を説明し、選挙での点字投票やら大学や公務員の点字受験、点字ワープロの活用といった事柄を簡潔に説明している。点字が文字であるという立場を明確におさえて執筆された説明文である。挿絵としては、駅の券売機の点字表示と点字の図書が写真で掲載されているほか、凸面からの点字がア行からサ行までの15文字紹介されている。ちなみに、この光村図書の国語の教科書は、盲学校用の点字国語教科書の原本にもなっている教科書である。

## 統一英語点字改訂についての最近の動向

北米点字委員会で、一般文章用英語点字を数学記号、理科記号及び情報処理用記号に拡張する作業を進め、1992年11月に報告書をまとめたことについては、すでに日点委通信No.9に紹介した。この報告書は、点字科学記号検討資料編纂会によって翻訳され、今年4月に日本点字委員会から点字と墨字で発行されている（墨字版500円《送料240円》、点字版1500円《送料無料》、申し込みは本会事務局へ）。

その後、1993年6月のオーストラリア・シドニーにおける国際点字委員会（International Council on English Braille）において、このプロジェクトを英語圏全体のものとする事が決定された。その結果、北米（アメリカ合衆国とカナダ）に加えて、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカからの代表がプロジェクトに参加した。

この国際英語点字委員会の英語点字拡張に関する第2委員会は、インターネットによる精力的な電子会議を進め、今年（1995年3月）統一英語点字記号最終報告書を発表した。現在、第2委員会に参加している英語圏の各国では、点訳者・点字教師、そして点字の読み手による評価の作業が続けられている。その評価の結果が反映された最終案が各国の点字委員会に採用されて初めて、統一点字コードが発効することになる。

点字科学記号検討資料編纂会では、この最終報告書の翻訳を急ぎ進めているところである。

### 『日本の点字 第21号』の内容について

『日本の点字 第21号』は、「試験問題の点字表記・概要」「情報処理用点字表記に関する報告」などを中心に編集する予定です。

## 頒 布 図 書 案 内

|                             |                     |
|-----------------------------|---------------------|
| 注文先・日本点字図書館用具事業部（消費税がかかります） |                     |
| 1. 『日本点字表記法 1990年版』         | （墨字版） 1000円（送料310円） |
| 2. 『点字数学記号解説』               | （墨字版） 600円（送料240円）  |
| 3. 『点字理科記号解説』               | （墨字版） 600円（送料240円）  |
| 4. 『日本の点字100年の歩み』           | （墨字版） 500円（送料240円）  |
| （郵便振替 00150-8-44522）        |                     |

|                              |                   |
|------------------------------|-------------------|
| 注文先・日本点字図書館出版事業部（消費税はかかりません） |                   |
| 1. 『日本点字表記法 1990年版』          | （点字版） 5100円（送料無料） |
| （郵便振替 00190-9-750672）        |                   |

|                                         |                                      |
|-----------------------------------------|--------------------------------------|
| 注文先・日本点字委員会事務局                          |                                      |
|                                         | （点 字 版）                      （墨 字 版） |
| 1. 『点字数学記号解説』                           | 1200円（送料無料）                          |
| 『点字数学記号解説別冊』                            | 3800円（送料無料）                          |
| 2. 『点字理科記号解説』                           | 1200円（送料無料）                          |
| 3. 『日本の点字100年の歩み』                       | 700円（送料無料）                           |
| 4. 『統一英語点字コードプロジェクト文書コード(英語点字)の拡張・中間報告』 |                                      |
|                                         | 1500円（送料無料）      500円（送料240円）        |
| 5. 『日本の点字 第9号』                          | 300円（送料無料）      300円（送料190円）         |
| 6. 『日本の点字 第11号』                         | 400円（送料無料）      400円（送料240円）         |
| 7. 『日本の点字 第12号』                         | 400円（送料無料）      400円（送料240円）         |
| 8. 『日本の点字 第13号』                         | 500円（送料無料）      500円（送料240円）         |
| 9. 『日本の点字 第14号』                         | 500円（送料無料）      500円（送料240円）         |
| （「改定現代仮名遣い」原文 点字表記に関する調査報告 その他）         |                                      |
| 10. 『日本の点字 第16号』                        | 500円（送料無料）      500円（送料190円）         |
| （点字が開いた社会参加への道 点字と情報機器 その他）             |                                      |
| 11. 『日本の点字 第17号』                        | 600円（送料無料）      600円（送料240円）         |
| （日本点字委員会25年の歩み 盲学校用点字教科書の表記について その他）    |                                      |
| 12. 『日本の点字 第18号』                        | 500円（送料無料）      500円（送料240円）         |
| （英語点字表記の一部改訂について ルビの扱いについて その他）         |                                      |
| 13. 『日本の点字 第19号』                        | 500円（送料無料）      500円（送料190円）         |
| （点訳者挿入符の使い方についての検討案 鳥居篤治郎先生と点字 他）       |                                      |
| 14. 『日本の点字 第20号』                        | 500円（送料無料）      500円（送料240円）         |
| （同音異穴の点字注記標準化についての提案 他）                 |                                      |

墨字版の送料は冊数が多くなれば割安になりますのでお問い合わせください。

|                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 〒110 東京都台東区上野桜木2丁目24番16号 電話 東京03(3827)0523番<br>日本点字図書館内 日本点字委員会事務局 （郵便振替 00100-1-42820） |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|